

2025年度二チイキッズ本城中央保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月13日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有、保育施設の課題を明確化し次年度の課題について話し合った。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り子ども一人一人の気持ちを受け止め、寄り添っていく大切さを職員全員で共有した。子ども主体の保育を目指し、全スタッフが同じ方向性で保育園作りを目指していきたい。
子どもの発達援助	個々の発達援助についてクラスミーティング等でしっかりと話し合い、情報共有の徹底に取り組んだ。全スタッフで同じ対応や取り組みを行い、子どもを取り巻く背景を理解し、子どもにとってより良い環境を整えることができた。園内研修でも発達について共有し学び合った。
保護者に対する支援	送迎時に子どもの様子を伝えあい相互理解に努めた。また、必要に応じて保護者と話し合いの機会を設けたり、関係機関の情報を提供したりしながら保護者の悩みに向き合い寄り添った。また、卒園後の転園先についても保護者と一緒に情報交換しながら行った。
保育を支える組織的基盤	スタッフの希望も考慮し、外部研修にも積極的に参加した。研修で学んだ事を職員全員で周知したことにより研修内容の理解が深まり、全員の保育の質向上が図られた。

総評
園の保育理念や保育方針を理解した上で、子ども一人一人にあった個人指導計画や年間計画・月・週の計画を立てていった。子どもの様子や情報（背景）等の記録を全職員閲覧し、個々に応じた配慮や対応に取り組むことが出来た。また、保護者の気持ちに寄り添い関係機関と情報共有しながら適切な援助を行った。今後も関係機関や自治体との関係の強化に取り組んでいきたい。感染症対策も継続しつつ、保護者への子育て支援を積極的に行い、子どもの気持ちに寄り添いながら「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」環境作りを目標に頑張っていきたい。